



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 1 月 1 0 日
Date of Application:

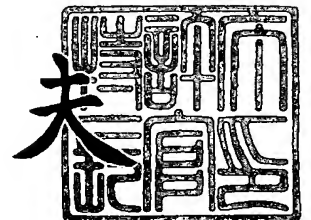
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 0 4 6 6 0
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 0 0 4 6 6 0]

出 願 人 コンビ株式会社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 1 月 2 7 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 9 8 2 7 7



【書類名】 特許願

【整理番号】 14025001

【提出日】 平成15年 1月10日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B62B 7/00

【発明の名称】 ベビーカー

【請求項の数】 5

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県岩槻市釣上新田 2 7 1 コンビ株式会社内

 【氏名】 田久保 精 司

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県岩槻市釣上新田 2 7 1 コンビ株式会社内

 【氏名】 黒 巢 広 子

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県さいたま市南浦和 3 丁目 3 6 番 1 8 号 コンビ株式会社 南浦和テクノセンター内

 【氏名】 森 口 健太郎

【特許出願人】

 【識別番号】 391003912

 【住所又は居所】 東京都台東区元浅草 2 丁目 6 番 7 号

 【氏名又は名称】 コンビ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100075812

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 吉 武 賢 次

【選任した代理人】

 【識別番号】 100073379

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 佐 藤 政 光

【選任した代理人】

【識別番号】 100091982

【弁理士】

【氏名又は名称】 永 井 浩 之

【選任した代理人】

【識別番号】 100096895

【弁理士】

【氏名又は名称】 岡 田 淳 平

【選任した代理人】

【識別番号】 100105795

【弁理士】

【氏名又は名称】 名 塚 聡

【選任した代理人】

【識別番号】 100106655

【弁理士】

【氏名又は名称】 森 秀 行

【選任した代理人】

【識別番号】 100117787

【弁理士】

【氏名又は名称】 勝 沼 宏 仁

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 087654

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ベビーカー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の背パイプを含んで構成されている手押杆を具備するベビーカー本体と、
前記一対の背パイプの各々の間に設けられるとともに、背部と当該背部の両サイドに設けられた一対の側部とを有する胴体部と、

座面を形成する座部と、

前記座部に対する前記胴体部の傾斜角度を調整することができるリクライニング機構と、を備え、

前記一対の側部の各々は、所定の長さを有する取付具を介して、対応する背パイプに取り付けられていることを特徴とするベビーカー。

【請求項 2】

前記取付具は、対応する側部の背面側に接続していることを特徴とする請求項 1 に記載のベビーカー。

【請求項 3】

前記取付具は、対応する側部の外側縁近傍に接続していることを特徴とする請求項 1 又は 2 のいずれかに記載のベビーカー。

【請求項 4】

前記取付具は、柔軟部材によって形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のベビーカー。

【請求項 5】

前記背部と一対の側部の各々とは一体的に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のベビーカー。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ベビーカーに係り、特に、乳幼児用シートを形成する胴体部をリクライニングさせることができるベビーカーに関する。

【0002】**【従来の技術】**

乳幼児用シートに収容された乳幼児が快適に過ごすことができるように、ベビーカーには種々の工夫が施されている。例えば、乳幼児が直接的に収容される乳幼児用シートをクッション性に優れた部材によって形成することによって、乗り心地の向上が図られている。また、乳幼児用シートの胴体部の傾斜角度を任意に変更することができるリクライニング機構をベビーカーに持たせることによって、収容された乳幼児が快適に過ごすことができるような傾斜角度に胴体部を調整することができるようになっている。

【0003】**【発明が解決しようとする課題】**

上述のように、ベビーカーに対して、乳幼児用シートを構成する胴体部をクッション性部材によって形成し、また、リクライニング機構を持たせることによって、乳幼児は乳幼児用シートにおいて快適に過ごすことができるようになっている。

【0004】

ところで、乳幼児用シートの胴体部に要求される適切な形状は、当該胴体部の傾斜角度に応じて異なる。その一方で、乳幼児用シートの胴体部は、比較的柔らかいクッション性部材によって形成されているので、傾斜角度の変化によって変形しやすく、必ずしも適切な形状を保持することができない。このため、リクライニング機構によって乳幼児用シートの胴体部の傾斜角度を変更すると（リクライニング動作）、当該胴体部の形状が崩れてしまい、例えば、胴体部の背部が乳幼児用シートの内側に倒れ込んだり（内倒れ）、胴体部の側部が乳幼児用シートの内側に突出したりしてしまうことがあった。このようにして乳幼児用シートの形状が崩れてしまうと、乳幼児用シートの形状の全体的なバランスが損なわれて、乗り心地が悪化し、また、外観面においても見栄えが悪くなる。

【0005】

本発明はこのような事情を鑑みてなされたものであり、乳幼児用シートを構成する胴体部のリクライニング動作に応じて、当該胴体部の形状が調整されるベビ

ーカーを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、一对の背パイプを含んで構成されている手押杆を具備するベビーカー本体と、前記一对の背パイプの各々の間に設けられるとともに、背部と当該背部の両サイドに設けられた一对の側部とを有する胴体部と、座面を形成する座部と、前記座部に対する前記胴体部の傾斜角度を調整することができるリクライニング機構と、を備え、前記一对の側部の各々は、所定の長さを有する取付具を介して、対応する背パイプに取り付けられていることを特徴とするベビーカーである。

【0007】

この場合、前記取付具は、対応する側部の背面側に接続していることが好ましい。

【0008】

また、前記取付具は、対応する側部の外側縁近傍に接続していることが好ましい。

【0009】

また、前記取付具は、柔軟部材によって形成されていることが好ましい。

【0010】

また、前記背部と一对の側部の各々とは一体的に設けられていることが好ましい。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の一実施の形態について説明する。

【0012】

図1乃至図4は本発明の一実施の形態を示す図である。図1は、ベビーカー全体の構成を概略的に示す斜視図である。図2は、ベビーカーの背面側の構成を概略的に示す図である。図3は、ベビーカーを折り畳んだ状態を概略的に示す図である。図4は、胴体部の側部と取付具と背パイプとの構成関係を概略的に示す図

である。

【0013】

図1及び図2に示すように、本実施の形態のベビーカー10は、ベビーカー本体12と、胴体部14と、座部16と、胴体部14をベビーカー本体12に対して支持するためのベースシート（支持体）18と、座部16に対する胴体部14の傾斜角度を調整することができるリクライニング機構20と、を備えている。

【0014】

ベビーカー本体12は、図1に示すように、双輪式の前輪21を有する左右一对の前脚22と、双輪式の後輪23を有する左右一对の後脚24と、ほぼ逆U字状に屈曲された手押杆26と、左右一对のアームレスト28と、を具備している。手押杆26は、左右一对の背パイプ30と操作装置32とを含んで構成されており、当該背パイプ30の下端近傍にはそれぞれ上記アームレスト28の一端が枢着され、そのアームレスト28の他端部には前脚22の頂端部が枢着されている。左右の後脚24の頂端部は、アームレスト28の中間部に枢着されており、その後脚24の中間部には、く字状に形成されたブラケット34の一端が枢着されている。そして、そのブラケット34の中間位置には、手押杆26を構成する背パイプ30の先端がそれぞれ枢着されている。

【0015】

ベビーカー10が展開された状態では（図1及び図2参照）、ブラケット34の他端に形成された係合部（図示せず）と、背パイプ30の下端部に摺動可能に装着されたロック部材（図示せず）と、が係合することによって、その展開状態が維持されるようになっている。一方、ベビーカー10が展開された状態にある場合に（図3参照）、手押杆26の操作装置32を操作することによって、ブラケット34の係合部とロック部材との係合が離脱されるようになっている。ブラケット34の係合部とロック部材との係合が離脱されると、アームレスト28等が、背パイプ30等との枢着点を中心として上方へ揺動することができ、前脚22と後脚24とがほぼ平行状態に揺動されることによって、ベビーカー10は折り畳まれるようになっている。更に、左右の背パイプ30を前方に移動させると、手押杆26等が前方にコ字状に折り曲げられるようになっており、ベビーカー

10は、図3に示すように更にコンパクトに折り畳まれるようになっている。

【0016】

胴体部14は、一对の背パイプ30の各々の間に設けられており（図1参照）、クッション性に優れた比較的柔らかいクッション性部材（例えば綿等）によって形成されている。当該胴体部14は、背部40と、当該背部40の左右両サイドに設けられた一对の側部42と、を含んで構成されている。なお、背部40と一对の側部42の各々とは一体的に設けられている。また、背部40は、乳幼児シートに收容される乳幼児の頭部に対応するヘッドレストを含んで構成されている。

【0017】

座部16は、胴体部14の下方において、ベビーカー本体12に対して支持されており、法線方向が略鉛直方向となるような座面を形成するようになっている。当該座部16は、クッション性部材（例えば綿等）によって形成されており、クッション性に優れた座り心地のよい座面が実現されている。そして、乳幼児が收容される乳幼児シートは、このような座部16及び胴体部14（クッションシート）を含んで構成されている。なお、本実施の形態では、胴体部14と座部16とは一体的に形成されており、当該胴体部14及び座部16によってクッション性に優れたクッションシートが形成されている。

【0018】

ベースシート18は、図2に示すように、比較的高い強度を有する部材（例えばポリエステル生地等）によってシート状に形成され、比較的高度な柔軟性が確保されている。また、当該ベースシート18は、その一部において網目状構造を有しており、比較的高度な通気性が確保されている。また、当該ベースシート18の左右の両端部近傍には、ベースシート用ホック器具44aが取り付けられている。このようなベースシート18は、胴体部14とベビーカー本体12との間に設けられると共に、一对の背パイプ30の各々の間に設けられている。そして、ベースシート18の左右両端部近傍のベースシート用ホック器具44aが、対応する背パイプ30に別途設けられたベースシート用ホック器具44bに嵌め込まれることによって、ベースシート18は、各背パイプ30に対して取り付けら

れている。

【0019】

本実施の形態のリクライニング機構 20 は、リクライニング調整用ヒモ部 20 a を含んで構成されており（図 2 参照）、当該リクライニング調整用ヒモ部 20 a は、柔軟性を有するベースシート 18 を貫通するようにして設けられており、当該ベースシート 18 を介して背パイプ 30 に接続している。このリクライニング調整用ヒモ部 20 a を、図 2 に示されている実線の矢印の方向へ引っ張ったり押し込んだりして、その長さを調節することにより、座部 16 に対する胴体部 14 の傾斜角度を適宜調整することができるようになっている（図 2 に示す点線の矢印参照）。

【0020】

また、一对の側部 42 の各々は、図 4 に示すように、所定の長さを有するフラップ状取付具 46 によって、対応する背パイプ 30 に取り付けられている。フラップ状取付具 46 の所定の長さは、リクライニング機構 20 による胴体部 14 のリクライニング動作が当該フラップ状取付具 46 によって阻害されないような長さを選定されており、また、フラップ状取付具 46 に用いる材料や他の事情を考慮した適切な長さを選定されている。また、このフラップ状取付具 46 は、柔軟部材（例えばニット生地等）によって形成されている。そして、フラップ状取付具 46 は、ベースシート 18 を介して、対応する背パイプ 30 に対して取り付けられている。すなわち、当該フラップ状取付具 46 の背パイプ 30 側の縁近傍には、フラップ状取付具用ホック器具 48 a が取り付けられており、ベースシート 18 には、フラップ状取付具用ホック器具 48 a に対応するフラップ状取付具用ホック器具 48 b が取り付けられている。そして、当該フラップ状取付具用ホック器具 48 a が、対応する背パイプ 30 に別途設けられたフラップ状取付具用ホック器具 48 b に嵌め込まれ、また、ベースシート用ホック器具 44 a が、対応する背パイプ 30 に別途設けられたベースシート用ホック器具 44 b に嵌め込まれることによって、フラップ状取付具 46 は、ベースシート 18 を介して、当該対応する背パイプ 30 に取り付けられている。一方、このフラップ状取付具 46 の側部 42 側の縁近傍は、対応する側部 42 の背面側であって外側縁近傍に対し

縫いつけられており、これによりフラップ状取付具 46 と対応する側部 42 とは取り付けられている。

【0021】

次に、このような構成を有する本実施の形態の作用について説明する。

【0022】

上述のような構成を有するベビーカー 10 において、リクライニング機構 20 のリクライニング調整用ヒモ部 20a の長さを調節することによって、図 2 に示すように、座部 16 に対する胴体部 14 の傾斜角度を調整して（図 2 に示す実線の矢印参照）、胴体部 14 をリクライニングさせることができる（図 2 に示す点線の矢印参照）。

【0023】

この時、胴体部 14 を構成する一对の側部 42 の各々は、フラップ状取付具 46 を介して取り付けられている対応する背パイプ 30 によって支持されているので、その位置、形状も当該背パイプ 30 によって適切な位置、形状に調整される。すなわち、リクライニング機構 20 によって胴体部 14 をリクライニングさせて、一对の側部 42 の各々とフラップ状取付具 46 との取付箇所と、当該フラップ状取付具 46 と対応する背パイプ 30 との取付箇所と、の距離が変動してしまうような場合であっても、所定の長さを有するフラップ状取付具 46 は、背パイプ 30 による側部 42 の支持状態を維持したまま、胴体部 14 をスムーズにリクライニングさせることが可能である。そして、これにより、胴体部 14 は、リクライニング後であっても背パイプ 30 によって支持され、適切な位置、形状に調整され保持されることとなる。このように、所定の長さを有するフラップ状取付具 46 は、胴体部 14 をリクライニングさせるような場合であっても、当該リクライニング動作を阻害せず、リクライニング動作に応じた適切な位置、形状に胴体部 14 を調整して、胴体部 14 の形状が崩れてしまうことを効果的に防止することができるようになっている。

【0024】

特に、対応する側部 42 の背面側にフラップ状取付具 46 を取り付けることによって、側部 42 の位置、形状を無理なく効果的に調整、保持することができる

ようになっている。

【0025】

また、対応する側部 42 の外側縁近傍にフラップ状取付具 46 を取り付けることによって、背パイプ 30 は、フラップ状取付具 46 を介して、対応する側部 42 の全体を支持することができ、側部 42 全体の位置、形状を効果的に調整することができるようになっている。

【0026】

また、フラップ状取付具 46 は、柔軟部材によって形成されているので、胴体部 14 のリクライニング動作にも柔軟に対応することができる。例えば、リクライニング機構 20 によって座部 16 に対する胴体部 14 の傾斜角度を変化させる際に衝撃的な力が生じてしまったような場合であっても、当該衝撃的な力はフラップ状取付具 46 によって緩和される。このため、このようなベビーカー 10 では、当該衝撃的な力が胴体部 14（背部 40、一对の側部 42）に伝わって当該胴体部 14 の位置がズレたり形状が崩れたりしてしまう、というような不都合を効果的に防止することができる。

【0027】

更に、背部 40 と一对の側部 42 とは一体に設けられているので、背部 40 も、側部 42 及びフラップ状取付具 46 を介して背パイプ 30 によって支持され、その位置、形状がリクライニング動作の有無にかかわらず効果的に調整、保持されるようになっている。

【0028】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、所定の長さを有する取付具を介して、胴体部を構成する一对の側部の各々と対応する背パイプとが取り付けられており、各側部は、胴体部のリクライニング動作の有無にかかわらず、取付具を介して対応する背パイプによって支持される。このため、胴体部の側部は、胴体部のリクライニング動作に応じて、その形状が調整されうる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

ベビーカー全体の構成を概略的に示す斜視図である。

【図 2】

ベビーカーの背面側の構成を概略的に示す図である。

【図 3】

ベビーカーを折り畳んだ状態を概略的に示す図である。

【図 4】

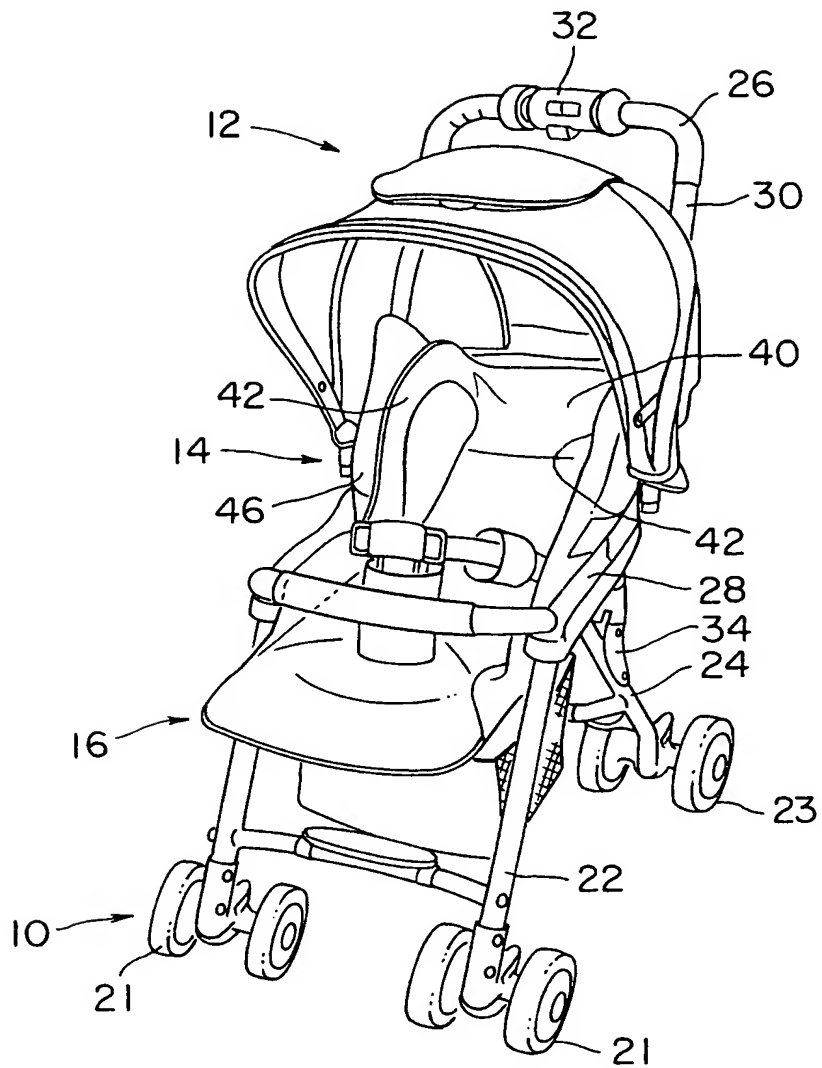
胴体部の側部と取付具と背パイプとの構成関係を概略的に示す図である。

【符号の説明】

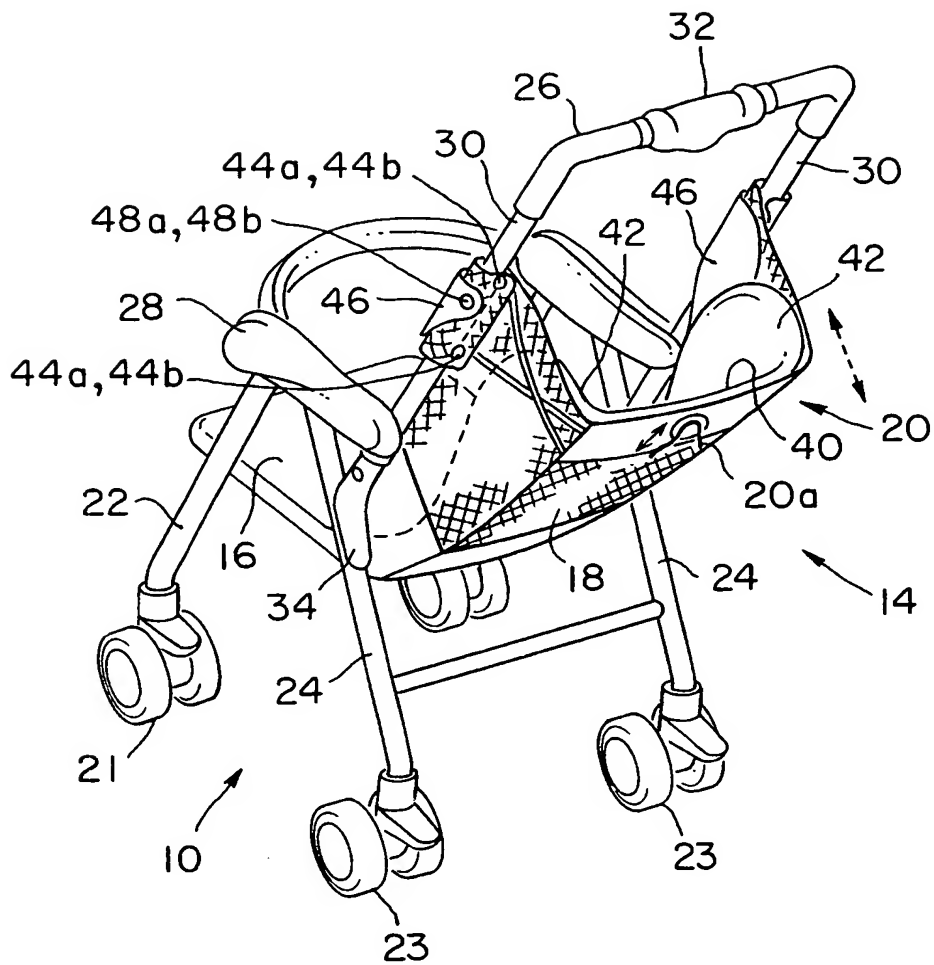
- 1 0 ベビーカー
- 1 2 ベビーカー本体
- 1 4 胴体部
- 1 6 座部
- 1 8 ベースシート（支持体）
- 2 0 リクライニング機構
- 2 0 a リクライニング調整用ヒモ部
- 2 1 前輪
- 2 2 前脚
- 2 3 後輪
- 2 4 後脚
- 2 6 手押杆
- 2 8 アームレスト
- 3 0 背パイプ
- 3 2 操作装置
- 3 4 ブラケット
- 4 0 背部
- 4 2 側部
- 4 4 a、4 4 b ベースシート用ホック器具
- 4 6 フラップ状取付具
- 4 8 a、4 8 b フラップ状取付具用ホック器具

【書類名】 図面

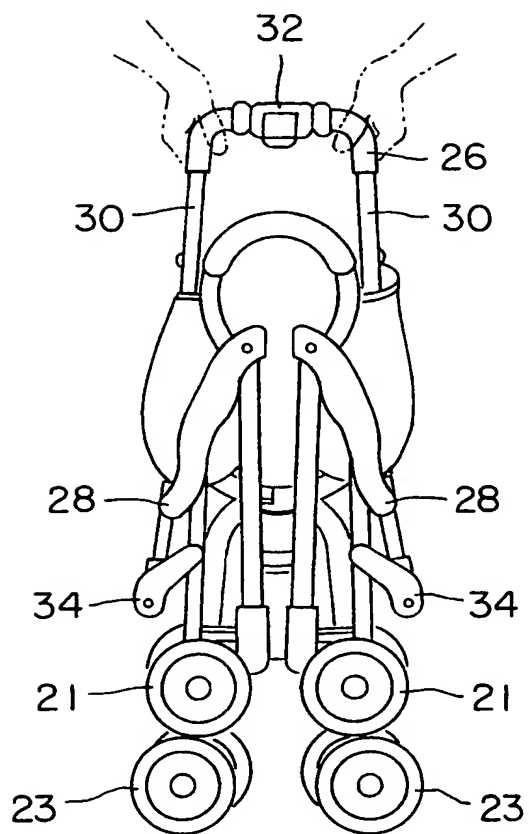
【図 1】



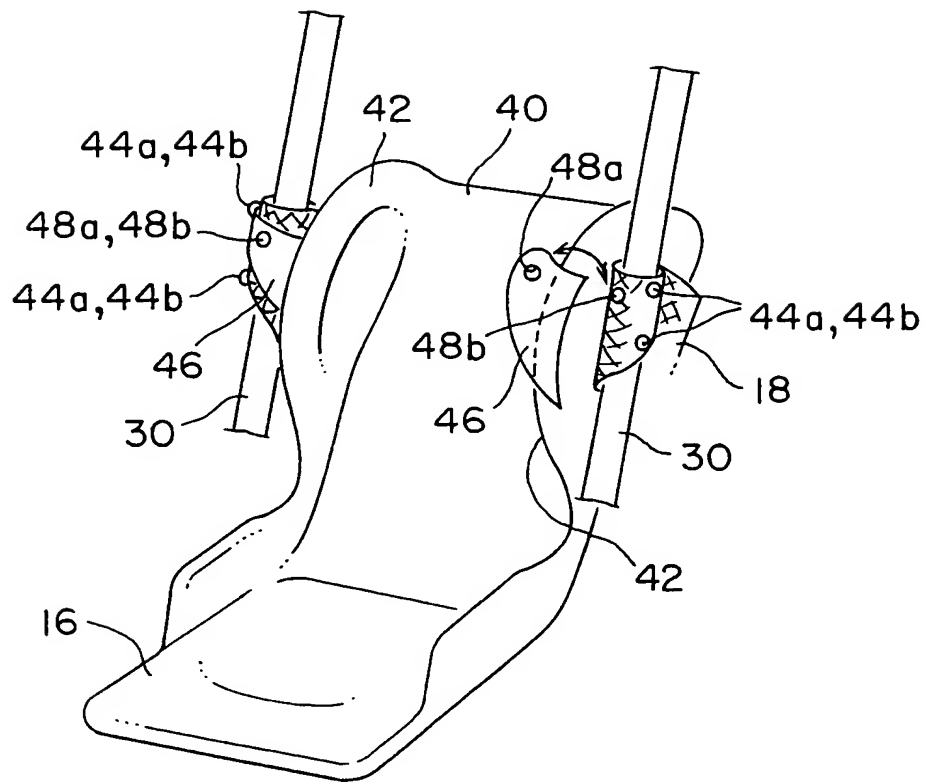
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 乳幼児用シートを構成する胴体部のリクライニング動作に応じて、当該胴体部の形状が調整されるベビーカーを提供すること。

【解決手段】 ベビーカー 1 0 は、一対の背パイプ 3 0 を含んで構成されている手押杆 2 6 を具備するベビーカー本体 1 2 と、胴体部 1 4 と、座部 1 6 とを備えている。胴体部 1 4 は、背部 4 0 と当該背部 4 0 の両サイドに設けられた一対の側部 4 2 とを含み、クッション性部材によって形成されている。また、ベビーカー 1 0 は、胴体部 1 4 をベビーカー本体 1 2 に対して支持するためのベースシート 1 8 （支持体）と、座部 1 6 に対する胴体部 1 4 の傾斜角度を調整することができるリクライニング機構 2 0 （2 0 a）と、を備えている。そして、一対の側部 4 2 の各々は、所定の長さを有する取付具 4 6 を介して、対応する背パイプ 3 0 に取り付けられている。

【選択図】 図 4

特願 2 0 0 3 - 0 0 4 6 6 0

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[3 9 1 0 0 3 9 1 2]

1 . 変更年月日

1 9 9 0 年 1 2 月 2 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都千代田区内神田 3 丁目 1 6 番 9 号

氏 名

コンビ株式会社

2 . 変更年月日

1 9 9 6 年 8 月 7 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都台東区元浅草 2 丁目 6 番 7 号

氏 名

コンビ株式会社